

都市交通環境(有賀)研究室

<https://transport.tu.chiba-u.ac.jp/>

自然科学系総合研究棟2 5F 505号室・514号室

准教授 有賀敏典 + 4年生 5名 (2023年度)

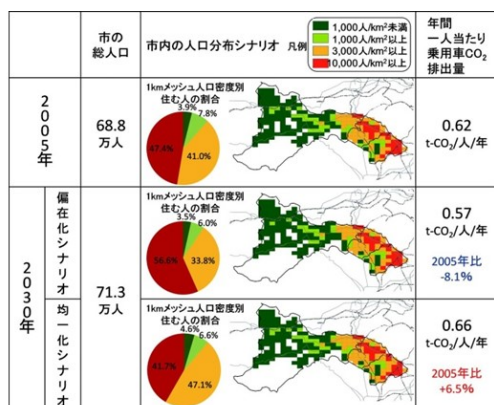
連絡先: tariga@chiba-u.jp



持続可能な社会実現には、人間にも環境にもやさしい都市や交通が必要です。都市と交通は、都市のあり方によって交通需要が変わり、交通のあり方によって都市が変わるという相互の関係を持っています。そのため、よりよい都市・交通を考えるには、都市と交通の両面から考えることが重要になってきます。また交通は、学業や業務、通院、レジャーなどの人間の様々な活動を支えているため、交通行動を理解するには、人間の活動を分析することも必要になってきます。本研究室では、よりよい都市と交通のあり方、さらにはよりよい人間生活のあり方を探求する研究に取り組んでいきます。

研究テーマ例

○都市構造と乗用車CO₂の関係

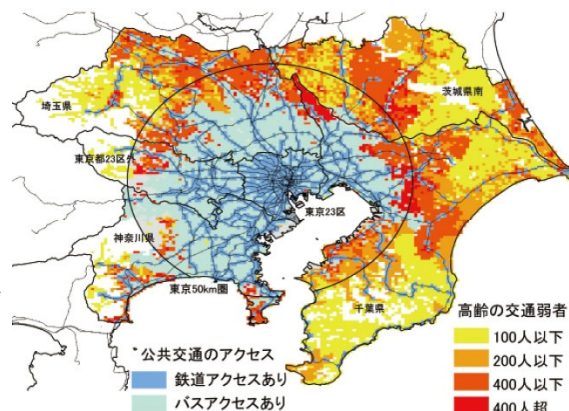


神奈川県相模原市の例

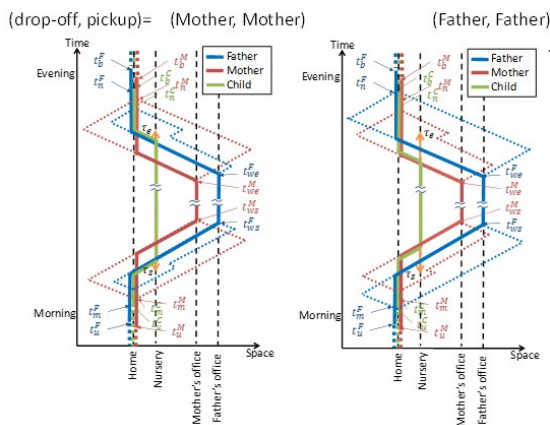
将来的にコンパクトシティを目指すことで乗用車CO₂がどれくらい減るのかシミュレーションをした研究

将来、鉄道やバスにアクセスできない高齢者がどこにどれだけ発生するかシミュレーションをした研究

○高齢交通弱者の分布の推計



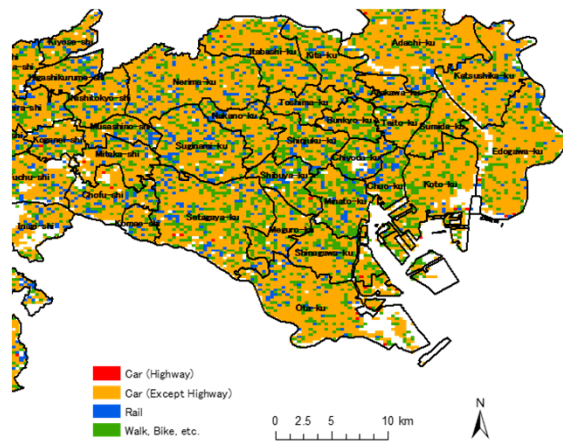
○人々の時空間制約の把握



保育園送迎がある世帯の1日のスケジュールを様々なパターン作成し、よりよいスケジュールを検討する研究

携帯電話位置情報のビッグデータを用いて、時間帯別地区別の交通手段の違いを分析した研究

○時間帯・地区による交通特性の違い



近年、自動車や自転車のシェアリング、電気自動車、自動運転の普及など、交通分野は転換期を迎えています。また、脱炭素社会の実現、高齢社会への対応など社会的な課題も多々あり、これらの課題にこたえる必要があります。さらに、授業や会議、買物、受診などオンラインでできることが増加するなかで、都市や交通のあり方も徐々に変わってきています。

このような状況下で研究テーマは多々ありますが、卒業研究のテーマは、学生さんの興味、学術的・社会的な意義、利用可能なデータ等を考慮し、決めていきます。研究をする上では、GIS、統計学、プログラミングを使うことが多いです。これらの知識は必ずしも必須ではありませんが、必要に応じ勉強することが望まれます。研究は一筋縄ではいかないことも多いですが、新しい課題に取り組むことはやりがいを感じられると思います。都市・交通に興味がある学生の皆さん、一緒に研究をしませんか。お待ちしております。

オープンラボ

- 2024年1月17日(水) 10:30~12:30 @自然科学系総合研究棟2 5F 共用ゼミ室
- 2024年1月24日(水) 12:20~14:20 @自然科学系総合研究棟2 5F 共用ゼミ室

※2回とも同内容(研究室紹介30分、ゼミ見学60分、質疑・相談等30分)で、入退出自由です。

参加登録はこちら↓

